

課題

【国語】目的に応じて文章を読み、分かったことをまとめることが苦手

手立て

「言葉による見方・考え方」を働かせた授業づくりを行う

具体例

POINT① 文章の要旨を捉えて、「読み」でもった課題から学習計画を立てる

○文章に何が書かれているのか、内容の大体を捉える

（初読前に語句の意味を調べる）

- ・何がどのように書かれているのか（文章全体の構成）を捉えて読む。
- ・読みの問い（課題）をもち、読みの目的を明確にする。

「身近にある便利なものを調べて伝えよう」

【学習計画】

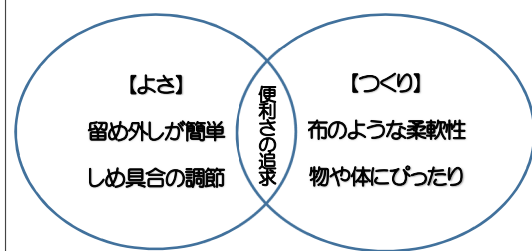
- ① 段落のまとまりを読んで見出しをつける。
- ② 仕組みについて中心となる語や文を見付けて読む。
- ③ 文章と図を結び付けて、必要な情報を読む。
- ④ 筆者の考えを捉えて自分の考えをまとめる。

POINT② 「言葉による見方・考え方」を働かせて、必要な情報を見付けて整理する

○「読むこと」の目的に応じて、図や表の見出しやリード文と文章を線で結び付けて読むことで内容を深く理解する

- ・ICT 機器を活用して、文章と図を結び付けた画面を共有しながら、情報を、思考ツール等を活用してまとめる。

調べたもの



POINT③ 「言葉による見方・考え方」を働かせて、分かったことを自分の言葉でまとめる

○ 目的に応じて文章と図や表を結び付けて読み、見付けた情報をもとに自分の考えをまとめる

- ・自分の見付けた情報を他者と交流し、目的に応じた内容になっているか比較・検討する。
- ・どのような読み方をして、自分の考えをまとめたのかについて振り返る。

《ふりかえり》

文章と図をつなげて「便利さ」に着目して読んだら、筆者の考えがよくわかりました。便利さについて、さらに追ぎゆうしていろいろすることが私たちのくらしをよりよくしていくのだと思いました。